

2025年8月21日
イオン株式会社
イオンモール株式会社
公益財団法人イオン環境財団

イオンモール仙台上杉 「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催

イオンモール株式会社と公益財団法人イオン環境財団は、「イオンモール仙台上杉」（以下、当モール）のオープンに先立ち、9月6日（土）に、下記の通り「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催します。

「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭は、ショッピングモールがみどりに包まれ地域社会に溶け込んだ場所になること、さらに育むところが世界へと広がっていくことを願い、新設するモールの敷地内に地域に自生する「ふるさとの木」の苗木を、地域のお客さまとともに植えて、大切に育てていく活動です。

当モールにおいては、旧東北大学雨宮キャンパス時代のみどり豊かな環境を踏まえ、地域の生態系と調和した緑化計画を推進しています。2021年から2024年にかけて、同大学災害科学国際研究所と連携した取り組みとして、上杉山通小学校・宮城教育大学附属小学校の児童の皆さまがどんぐりから育てた約150本のコナラの苗木と地域に自生する樹種から選定した郷土種約40種の苗木、約3,000本を地域ボランティアの皆さまと植樹します。

記

■「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭 開催概要

- 日 時： 9月6日（土） 8：30～11：00 ※雨天決行、荒天中止
- 場 所： イオンモール仙台上杉 敷地内（宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町1番1号）
- 次 第： 8：30 開始 主催者挨拶：イオン株式会社社長兼イオン環境財団理事長 岡田 元也
ご来賓挨拶：宮城県副知事 小林 徳光 様
仙台市副市長 高橋 新悦 様
8：50 場所を移動し、植樹を実施
11：00 植樹 終了
- 植樹本数：約3,000本（地域に自生する樹木を中心に選定）
- 植樹の種類：モミ・コナラ・ネズミモチなどの高・中木
ハイヌツゲ・アオキなどの低木 合計 約40種類

【ご参考】 東北大学災害科学国際研究所と連携した仙台上杉における取り組み



どんぐり拾い



ポット苗の育成「苗守（なえもり）」



建設地での苗木展示

ご参考

【国立大学法人東北大学災害科学国際研究所、イオンモール㈱、公益財団法人イオン環境財団による「産学連携協力」に関する協定締結】

国立大学法人東北大学災害科学国際研究所、イオンモール株式会社、公益財団法人イオン環境財団の三者は、2021年6月、「産学連携協力」に関する協定を締結しました。

自然災害、地球規模の気候変動など様々なリスクがある中、安全で安心できるレジリエント・コミュニティの創生を目指し、共同研究を進めています。

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により日本で初めて、地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は持続可能な地域の実現を目的に新たな里山づくりにも取り組んでいます。

■「植樹」事業

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで変化した森の再生を目的に、中国万里の長城などアジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。

1991年からのイオン全体の植樹の累計本数は、1,276万本を超えています。（2025年2月末時点）

■「助成」事業

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年約1億円の助成支援を行っています。2024年までの34年間で累計3,546団体、助成金額は31億9,347万円となりました。現在は「里山の保全と利活用」をテーマに活動団体を支援しています。

■「環境教育・共同研究」事業

大学をはじめとした様々な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに、環境分野で活躍する人材を育成していくためのプログラムを実施しています。

大学連携では、東北大学、早稲田大学、東京大学、京都大学、千葉大学と地域が求める里山づくりを推進しています。国連大学とはグローバルで活躍する環境リーダーを育成するプログラムをスタートしました。また、日本ユネスコエコパークネットワーク、日本ジオパークネットワークとは、生物多様性や地質遺産の保全と利活用との調和による持続可能な地域社会を目指し、教育や啓発活動で連携しています。

■「顕彰」事業

生物多様性条約事務局(The Secretariat of the Convention on Biological Diversity)と連携し当財団の設立20周年であった2010年の「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」日本開催を契機に「The MIDORI Prize for Biodiversity 生物多様性みどり賞」を創設しました。

顕著な環境活動が認められる個人を顕彰するもので、これまでに20カ国21名を顕彰しています。